



左 上田ゆきこ
幹事長・文教委員長／無所属

中 品田ひでこ
副幹事長／立憲民主党

右 宮崎こうき
厚生副委員長

新型コロナウイルス感染症対策！

- 区長、教育長への会派緊急要望が実現し、高齢者・障がい者施設職員等の定期的なPCR検査が実現！
- 幼稚園・保育園・小中学校・育成室の教職員等への定期的なPCR検査を強く要望中
- 新型コロナワクチン接種の円滑な執行を

文の京の新しい教育

- GIGAスクール構想により児童生徒に1人1台配布されたタブレットを活用した新たな教育の充実を
- 35人学級に対応した学校整備を
- 学校給食の無償化を

子育て支援政策 NO.1をめざして

- 全ての区立保育園や認定こども園で0歳児保育を
- 育成室の待機児童対策、全ての区立幼稚園・保育園のこども園化を
- 園庭のない保育園対策や子どもの遊び場の増設を



コロナ禍の経済対策

- 中小企業・商店の皆さんの声を伺い、事業継続や業態転換のための融資や制度を実現！
- 飲食店応援！
テイクアウト・宅配支援、公園等でのキッチンカーを実現！



元気な高齢者はフレイル予防で

- フレイル予防の「ウォーキング大作戦」(区内商店のお買物券をインセンティブにする)
- 栄養満点の楽しいお食事指導(オーラルフレイル予防)

サステナブルな暮らし

- 文京区もゼロカーボンシティ宣言を
- エシカル消費の啓発を

区長、教育長に
「令和3年度予算編成への提案について」の予算要望
「新型コロナウイルス感染拡大防止における
会派創 (sow) 緊急要望」を提出しました。

- みなさんの声が予算化されました。
- 緊急要望についてもお対応いただいています。
- 予算要望・緊急要望の内容については、
- 会派公式 Facebook ページで！



成澤区長に
(8月6日)



加藤教育長に
(8月7日)



みなさんの声を政治に届けています

会派で 意見書 (案) を提出しました！

9月定例会	男性の育児休業取得の義務化を求める意見書 (案)
11月定例会	日本の性犯罪に関する刑法の再改正を国に求める意見書 (案)
11月定例会	核兵器禁止条約を批准するよう国に求める意見書 (案)
11月定例会	同性カップルについての国勢調査を求める意見書 (案)
2月定例会	「手話言語法」の制定を求める意見書 (案)
2月定例会	気候変動による地球温暖化対策の推進を求める意見書 (案)
2月定例会	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書 (案)

会派で 請願の紹介議員になりました！

6・9月定例会	種苗法改正に関する請願 (不採択) 不採択
11月定例会	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願 採択

実現！

令和2補正・令和3当初予算に！

- ◇今秋、B-ぐる第三路線スタート
(湯島本郷エリア)
- ◇区内事業所の業態転換や多角化融資支援制度
- ◇オンライン申請・届出等手続きサイトの導入
- ◇病児・病後児保育事業の拡大
(都立駒込病院内、春日・後楽園駅前再開発内)
- ◇高齢者・障がい者・子ども施設等のPCR検査
- ◇ベビーシッター等による多胎児育児支援
- ◇認知症検診等による軽度認知障害 (MCI) の発見
- ◇育成室の待機児童解消事業
(文林内1室、根津地区2室、大塚小内1室)
- ◇水害時の垂直避難・在宅避難促進事業拡充
- ◇後楽エリアマネジメント
(後楽幼稚園のこども園化計画)
- ◇旧元町小跡地再開発 (湯島幼稚園のこども園化計画とコワーキングスペースの設置)
- ◇区立図書館の電子図書館機能拡充
- ◇公園再整備 (神明、西片、久堅など)
- ◇学校改築
(誠之小、明化小、柳町小、大塚小他教室対策)
- ◇タブレット端末を活用した対面授業と
オンライン授業の「ハイブリット授業」

ご案内

オンラインセミナー

環境に配慮した “エシカル消費” を学びましょう！

※エシカル消費とは福祉や環境に配慮した倫理的な消費のことです。

開催日時 2021年
5月26日(水) 18時30分～

講師：一般社団法人
日本サステナブル・ラベル協会
代表理事 山口真奈美 氏

受講方法：オンライン (Zoom)

参加費：無料

→ 5月20日 (木) までに、下記メール
アドレスに以下の内容をお送りください。

件名：エシカル消費セミナー

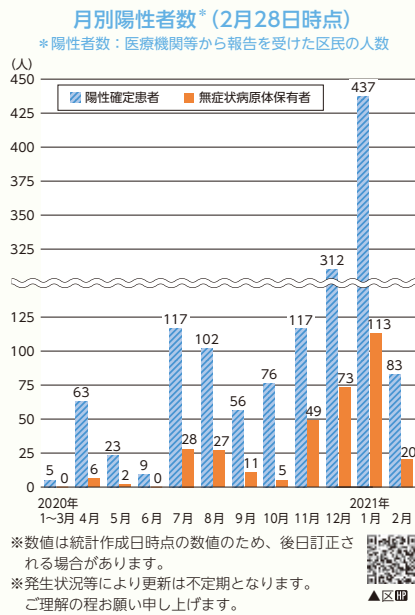
内容：参加者氏名

メールアドレス：(ZoomURL 送付先アドレス)

申込み先 bunkyo-sow@outlook.jp

“新しい生活様式” に対応した政策を提案しています！

新型コロナウイルス感染症に関する 区内統計情報



要望事項

- シビック25階に眺望のよい展望レストランを早期に再開させ、区民に提供すること
- 防災センターにドローンを活用した災害情報の収集体制を。また区民協力によりSNSを活用した災害時の情報収集を
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の全庁展開による押印の廃止、電子申請の推進
- B-ぐる第4路線（大塚・千石・白山）の早期計画化
- 障がい者施設「槐の会」の建替え
- フレイル予防のウォーキング大作戦（インセンティブに区内商店のお買物券付き）や栄養満点の楽しいお食事指導
- コロナ禍の子どもたちの学びの保障
- 幼児教育・保育の質の向上



- 医療的ケア児の幼・保・小・中への受入拡大
- 子どもの遊び場の児童遊園・公園再整備の拡充
- 巻石通り無電柱化工事の短縮
- 計画通りの学校改築
- パラリンピック難民選手団ホストタウンとして、区民の国際的理解とオリンピック憲章理念の啓発
- 大塚地域活動センター跡地を活用した小石川地区のb-lab（青少年プラザ）の新設
- 介護保険料が上がりすぎない対策
- 要支援者が福祉避難所へ直接行ける仕組みづくり
- 期日前投票所の増設と投票率の向上
- 早稲田から江戸川橋までの都電荒川線延伸
- がん検診の受診率の向上
- 交通安全対策、特に自転車のマナー啓発



宮崎こうき

令和2年11月本会議一般質問



- 1 コロナ禍での保健所機能強化について**
コロナ禍に必要とされる保健所機能や新たな行政ニーズに応えるために保健師の更なる採用増を要望した。
- 2 区の支払業務の迅速化を**
区民の命や生活、事業者の経営に大きな影響を及ぼす可能性がある支払い遅延の防止と内部統制の質の向上を図られるよう要望した。
- 3 コロナ禍での避難所運営について**
コロナ禍での二次避難所の今後の開設計画や区民への周知、神田川周辺の住民の安心安全のために水害時の垂直避難先の更なる確保を要望した。
- 4 高齢者の深刻な経済的問題について**
この先、高齢化が進むなかで深刻化する高齢者の経済的問題について、いつでもわかりやすく安心して相談できる体制の構築を要望した。
- 5 区民参画で電子バリアフリーマップの作成を**
区民参画による総合的な電子バリアフリーマップの作成と、巻石通りにおける無電柱化工事の期間短縮の検討を強く要望した。



品田ひでこ

令和2年11月本会議一般質問



- 1 押印（ハンコ）なくそう！@区役所の手続き電子申請などデジタル化の促進を**
区民の負担軽減の観点から、区役所の手続きは、印鑑使用の原則廃止を表明すべき。またコロナ期だからこそ「デジタル化」を電子申請の件数を速やかに増やすこと。
- 2 飲食店応援！礒川公園にキッチンカーを**
礒川公園やシビック駐車場側を規制緩和してランチタイムに「キッチンカー」出店で飲食店応援を。またシビック地下2階区民ひろばや礒川公園でお弁当の「ワゴン販売」も提案。
- 3 「もうコロナ前には戻れない！」**
新事業でがんばる区内事業者へ支援の手を区内事業所が、コロナの時代に求められる事業形態に変更して再スタートする決断をした際に、実質無利子の「新事業チェンジ融資制度」及び「新事業準備補助金」の創設を。
- 4 育成室の待機児解消と感染防止策を**
育成室の待機児童が増加傾向にあることから保育園同様に育成室は民間の力を借りてスピーディーに増やすべき。また、既存の育成室はコロナ感染症予防の密を避ける対策を。
- 5 「エシカル消費」を進めましょう！**
消費者は、環境や社会問題の解決に貢献する商品を購入する「エシカル消費」を。区は普及啓発に積極的に取り組むこと。マイバック・マイボトル持参や食品ロス削減のPRも。



上田ゆきこ

令和3年2月本会議一般質問



- 1 新型コロナウイルスワクチン接種のわかりやすい周知と相談体制を**
予約がスムーズに行われ、接種が確実に行われるよう区民に正しく、わかりやすいお知らせの仕方と不安の解消に努めることを要望した。
- 2 小学校教科担任制など新たな教育モデルの導入準備を**
令和4年からの教科担任制の本格導入については、特に高学年の英語、プログラミング等について、体系的な学びを促せるよう専門的な外部人材の活用も検討するよう要望した。
- 3 オーラルフレイル予防と軽度認知障害MCIの発見を**
感染症流行による外出自粛や介護予防事業の縮小により、高齢者の日常生活動作や口腔機能等の低下が心配される。特にオーラルフレイル予防に取り組んでいくよう要望した。
- 4 小石川図書館の改築及び竹早公園との一体的整備について**
公園利用者も含めた一体整備検討委員会で検討が進められる。建て替えが遅れないよう、早期にスケジュールを示し、なるべく早く建て替えが実現するよう要望した。
- 5 感染症流行の経験を生かした災害対策を**
避難所運営ガイドライン「新型コロナウイルス編」を活用したHUGやオンラインを活用した訓練等が全ての避難所でできるよう、支援を強めることを要望した。

